

SHIMADZU 最新技術セミナー in 長野

島津製作所 分析計測機器セミナー・展示会

拝啓 平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社では昨年に引き続き、『SHIMADZU 最新技術セミナー in 長野 分析計測機器セミナー・展示会』を企画いたしました。セミナーでは、最新測定技術や規制対応情報、測定ノウハウ等をご紹介します、会場では最新製品のパネル展示（一部動作可能な実機展示）を行い、さまざまな分析測定のご相談をお受けしたいと考えております。

ご多忙中とは存じますが、ぜひご来場賜りますようご案内申し上げます。

弊社では引き続き、“お客様の分析計測業務の生産性・信頼性・安全性の向上を目指した製品開発とサポートの充実”に努めてまいりますので、今後ともご支援をいただきますようお願い申し上げます。

敬具

株式会社島津製作所 東京支社
株式会社北信理化

◆開催日・会場

2009年11月25日(水) 13:00～17:20(開場12:30)

「ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)」

長野県長野市若里1-1-3 (Tel: 026-226-0008)

◆セミナープログラム(定員 各40名様) ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

13:00 ～13:50	食の信頼性確保に向けて ～異物解析と産地判別～ 食品中異物を検出、解析し、発生源を突き止めることは安全性確保のために重要です。本発表では X 線透視により異物を検出し、蛍光 X 線や赤外吸収スペクトルなどで同定する方法について紹介します。また産地判定法として、ICP、ICPMS 等を用いた多変量解析手法についても紹介します。
14:00 ～14:50	信頼性を確保するための分析操作のポイント 分析操作の各ステップにおいて、より信頼できるデータを得るために、注意すべきあるいは考慮すべき基礎的なポイントについて解説します。解説の対象とする主なステップは、試料調製、検量作成、結果の評価で、一部具体的な例も含めて説明します。
15:10 ～16:00	SPM, LSM, SFT, SEM など各種顕微鏡 ～新製品と新技術発表～ 大気中での高分解能観察が可能な操作型プローブ顕微鏡(SPM)、操作型レーザー顕微鏡(LSM)、ナノサーチ顕微鏡(SFT)について、原理・特徴・用途を平易に解説するとともに、最新の技術情報ならびに新製品を紹介します。
16:10 ～17:10	微量 PCB 混入重電機器問題の背景と簡易定量法 昭和初期より電気絶縁油や熱媒体に用いられていたポリ塩化ビフェニル(PCB)は、1974年に当時の特定化学物質に指定され、その製造・使用・輸入が禁止されました。しかし、2002年、1974年以降に製造された重電機器の中に PCB 汚染が発生しているケースがあることがわかり、環境省は、これらを適正処理できる方策と、その混入状況を測定する方法の策定を進めており、本セミナーで分析手法を含め解説します。

◆実機展示予定製品

- フーリエ変換赤外分光光度計 IRAffinity-1
- エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置 EDX-720

◆パネル展示予定製品

- 超高速液体クロマトグラフ Prominence UFLC/XR
- ガスクロマトグラフ GC-2010plus
- ガスクロマトグラフ質量分析計 GCMS-QP2010plus
- 紫外可視分光光度計 UV-1800
- 原子吸光分光光度計 AA-7000
- マルチタイプ ICP 発光分析装置 ICPE-9000
- FEI 社製走査型電子顕微鏡 Quanta シリーズ
- ナノサーチ顕微鏡 SFT-3500
- 共焦点レーザー顕微鏡 OLS-4000
- 走査型プローブ顕微鏡 SPM-9600
- マイクロフォーカス X 線透視装置 SMX-1000
- 精密万能試験機オートグラフ AGS-X

展示品・パネル内容予定品です。都合により変更させていただく場合もありますのでご了承願います。

- ◆参加費 無料 ※セミナー聴講ご希望の場合は、別紙の申込書にてお申し込みください。(締切: 11月18日)
展示会場はご自由にご覧いただけます。(お申し込みの必要はございません。)